

## 外来医療計画の見直しについて

### ➡見直しのポイント

- 次期計画より、**第 8 次地域医療計画に内包化し、「外来医療に係る医療提供体制の確保に関する事項」として**本体計画へ位置付ける。
- 第 8 次地域医療計画への内包化に伴い、**計画本文と重複する内容のスリム化を行うなど、本体計画との調和を図りながら策定**していく。
- 厚労省における「**外来医療に係る医療提供体制の確保に関するガイドライン～第 8 次（前期）～**」の改正内容を踏まえた対応については、**次の方針により実施し、必要な事項を新規に記載**する。

国ガイドラインの改正内容に対する県の対応方針について、主に御確認をお願いします。

<ガイドラインの主な改正内容と本県の対応方針>

項目	ガイドラインの主な改正内容（新たに盛り込まれた事項）	県の対応方針
外来機能報告	都道府県においては、外来機能報告により入手可能な紹介受診重点外来や紹介・逆紹介等のデータを活用し、地域の外来医療の提供状況について把握するとともに、紹介受診重点医療機関の機能・役割も踏まえた、地域における外来医療提供体制の在り方について、検討を行うこととする。	地域医療構想調整会議において、外来機能報告で取得したデータを元に紹介受診重点医療機関の協議等を行うことにより、検討を進めていく。
	地域の医療機関の外来機能の明確化や連携状況を可視化し、患者による医療機関の適切な選択を支援することを目的に、外来医療計画に紹介受診重点医療機関となる医療機関の名称に加え、外来機能報告で把握可能な、紹介受診重点外来の実施状況等の情報を新たに盛り込むこととする。	令和 4 年度外来機能報告に基づく紹介受診重点医療機関については、第 2 回地域医療構想調整会議の場を活用し、協議を実施する。また、紹介受診重点外来の実施状況については、国から提供される集計結果を活用していく。
実行に関する P D C A サイクル	地域に必要な外来医療提供体制の構築を進める観点から、都道府県は、地域で不足する医療機能（夜間・休日の診療、在宅医療、公衆衛生等）について、具体的な目標を定め、達成に向けた取組の進捗評価に努めることとする。	初期救急、在宅医療、公衆衛生等の地域で不足する医療機能については、二次医療圏ごとに不足する医療機能の分析を行った上で、5 疾病 6 事業及び在宅医療において設定した取組や目標と併せて進捗管理することとし、本体計画第 5 編第 2 章「主要な疾病・事業ごとの医療提供体制」と一体的に策定していく。

- 不足する外来医療機能に係る二次医療圏ごとの多角的な分析や、紹介受診重点医療機関の明確化など、**外来医療提供体制の確保に資する情報提供に重点を置き、内容の充実を図る。**

## 次期外来医療計画の構成案について

前述の見直しのポイントを踏まえ、次のとおり構成を見直す。

現行（第1期外来医療計画）	見直し後（医療計画第9編 外来医療に係る医療提供体制の確保に関する事項）	見直し内容
<b>I 計画の策定</b> 1 2040年を展望した地域医療提供体制の改革 2 計画策定の趣旨 3 計画の全体像 4 計画期間 5 計画の対象範囲	<b>第1章 外来医療に係る医療提供体制の確保の方針</b> 第1節 外来医療の現状 第2節 区域の設定と協議の場の設置 第3節 取組の進捗評価	○ 現行計画Iの記載内容については、本体計画第1編（計画の基本的事項）に集約し、外来医療提供体制の総論や各章の共通事項等を記載する章として再編する。
<b>II 外来医療機能の不足・偏在への対応</b> 1 情報の可視化 (1) 県内医療機関の配置状況 (2) 外来医師偏在指標 (3) 外来医師多数区域の設定 2 計画の実効性の確保 (1) 外来医師多数区域における新規開業希望者等への対応 (2) 不足する外来医療機能の把握 ① 夜間や休日等における初期救急医療 ② 在宅医療 ③ 公衆衛生 (3) 協議の場の設置	<b>第2章 外来医療機能の不足・偏在への対応</b> 第1節 不足する外来医療機能の可視化 第2節 外来医療提供体制の確保に向けた対応 1 外来医師偏在指標と外来医師多数区域の設定 2 新規開業者等への情報提供及び協力要請	○ 情報提供に関する内容を第1節に繰り上げ、不足する外来医療機能の二次医療圏単位での分析結果等を掲載する。 ○ 「県内医療機関の配置状況」については、本体計画第2編第4節（医療施設の状況）に集約する。
<b>III 医療機器の効率的な活用に係る計画</b> 1 計画策定の趣旨 2 医療機器の配置の状況 3 協議の場と区域単位 4 情報の可視化 (医療機器のマッピング情報) 5 医療機器の共同利用方針 (1) 計画書の作成及び県への提出 (2) 共同利用計画の実施	<b>第3章 医療機器の効率的な活用</b> 第1節 医療機器の可視化 第2節 医療機器の共同利用方針	○ 情報提供に関する内容を第1節に繰り上げ、医療機器の配置の状況や保有状況等を掲載する。
	<b>第4章 地域における外来医療の機能分化・連携の推進</b> 第1節 紹介受診重点医療機関の明確化 1 紹介受診重点医療機関 2 紹介受診重点外来の実施状況	○ 厚労省ガイドラインの改正に伴い、章を新設する。
<b>IV 外来医療計画の実行に関するPDCAサイクル</b> 1 PDCAサイクル 2 指標を用いた評価と計画への反映 3 県民への公表		○ PDCAサイクルの基本的事項は本体計画第1編（計画の基本的事項）に集約し、取組の進捗評価については本体計画第5編第2章（主要な疾病・事業ごとの医療提供体制）と一体的に策定していくことを第1章第3節に記載する。

計画本文については、次回の地域医療構想調整会議において提示する。